医療法人
社会福祉法人 養和会

No.283

令和5年4月発行

きやらぼく

CONTENTS

▪ 養和会レポート
・社会福祉法人養和会
設立20周年記念式典を終えて
・特定技能制度で働いています！

▪ information
・養和会野球部
・精神科デイケア たんぽぽ
オリジナル曲「たんぽぽの風」完成！

※表紙の写真は、令和５年度養和会グループ入職式の集合写真です。

養和会グループの求人募集はこちらから

engage 養和会　検索

『社会福祉法人養和会 設立 20 周年記念式典を終えて』

障がい福祉サービス事業所　エポック翼
施設長　精神保健福祉士　田崎 昌宏

柔らかな太陽の日差しが降り注ぎ、桜のつぼみも色づき始めた 3 月 19 日、社会福祉法人養和会設立 20 周年記念式典を米子コンベンションセンターにて開催いたしました。

当日は約 200 名の方々にご臨席頂き、平井鳥取県知事よりビデオメッセージを、伊木米子市長、伊達境港市長よりご祝辞を賜りました。その後、20 年の歩みをビデオ映像で振り返り、20 周年を記念して住吉公民館への寄付の贈呈を行いました。

続いて行われました『私たちが目指す地域共生社会』をテーマとしたシンポジウムでは、障がい当事者や関係者のシンポジスト 4 名から「～こんな街になったらいいな～」というそれぞれの想いや今後への希望、夢を伺いました。そして、4 名のお話から共通するキーワード「つながる」ことを会場の皆さまと共有することが出来ました。

故 廣江恵子前理事長は、地域の方々との関係作りを大切にする一方、『障がいのある方が安心して過ごせる居場所を作りたい』との想いで障がい福祉サービスを展開し、『せめて 1 食でも良いから温かい栄養のある食事を皆と楽しく笑いながら食べる環境を作りたい』と自ら昼食作りを長年担っておられました。そして、平成 28 年 6 月に廣江仁現理事長が就任後、前理事長の想いを継承しつつ、時代と共に変転する地域課題について医療法人と連携しながら取り組んできました。

これからも地域に向けて何が出来るのか、目の前の地域の方々、障がいのある方々の声なき声を聞き逃していないか、想いに寄り添えているか、そして何より歩みを共にしているかを大切にしながら廣江仁理事長のもと、スタッフ一同精進して参ります。

20 年前に地域に撒いた種がようやく芽吹き始めた今、今後大樹となるよう地域の皆さまと共にあり続ける法人でありたいと思います。今後とも社会福祉法人養和会を何卒宜しくお願い申し上げます。

特定技能制度で働いています！

特定技能制度とは、特定技能資格に関する日本の制度です。
在留資格「特定技能」とは2019年4月から導入されている新しい在留資格で、深刻な人手不足と認められた14の業種に、外国人の就労が解禁されます。これらの業界での仕事は単純労働を含んでいるため、これまでは外国人が行うことはできませんでしたが、昨今の少子高齢化の影響が深刻で、このままでは業界そのものが立ち行かなくなることから、外国人労働者を受け入れることとなりました。在留期間は通算で5年までとなっています。

＜回復期病棟　ゴゴク　サイネット　マクヨン＞

養和会で最初は日本語に自信がなくて不安でした。でもありがたいことにスタッフみんなが親切にサポートしてくださり、段々日本の生活や仕事にも慣れてきました。

最近は自分が人の役に立っていることを実感できて嬉しいです。ご利用者に笑顔でありがとうと言っていただくために、今後も日本語を上達できるようにがんばります。

＜急性期病棟　メドリナ　ウィルフレド　ジュニア　デ　グゾマン＞

初めて海外で働くフィリピン人です。到着して以来、毎日が本当の挑戦でした。しかし、同僚はいつも私が現在の状況に適応するのを助けてくれます。親切で素晴らしい同僚たちと一緒にこの病院で働くことができてよかったです。

＜精神療養病棟　ベニト　レルマ　アルドン＞

私は誰かの人生に変化をもたらす可能性のある仕事をするのが好きです。誰かを笑顔にしたり、ちょっとしたことをしてその人をよりよくしたりするのが好きです。

介護者になるということは雑用をするだけでなく誰かの人生に喜びをもたらすことでもあります。

養和会のスタッフはとても歓迎してくれ私たちが新しい環境や仕事に順応できるようにさまざまな方法で助けてくれていることに感謝しています。また私たちの精神的および感情的な幸福にも気を配っていることもすばらしいです。教えてくれたり導いてくれたり仕事をサポートしてくれる先輩がいることをうれしく思います。

介護者として同僚とよりよい関係を築き、ご利用者とコミュニケーションできるように言語と非言語のスキルをさらに向上させたいと考えています。私はご利用者が生活の質を向上させるために必要なケアを提供するために信頼できる介護者になるためにより多くのスキルを学ぶために最善をつくします。

養和会野球部

第78回国民体育大会
米子市予選結果

一回戦 VS JR西日本米子 3−2 勝利
今シーズン開幕戦から良いスタートが切れましたのでこの流れに乗ってまずは米子市代表を勝ち取りたいと思いますので引き続きご声援の程よろしくお願いします!

野球部 主将 福島 直也

4月の予定

■4/8 第78回国民体育大会　米子市予選
どらどらパーク米子市民球場にて
準決勝 VS 王子製紙(11時30分試合開始予定)
（勝てば西部消防と米子信用金庫の勝者と代表決定戦）

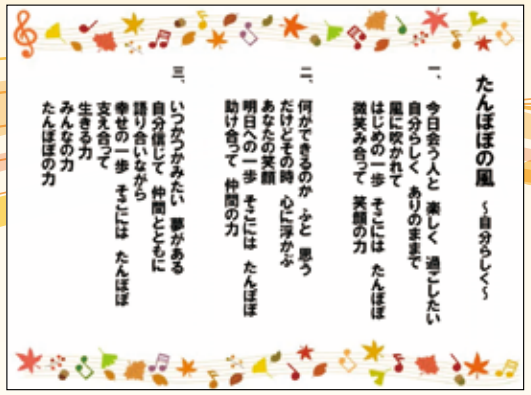
■4/15 第78回国民体育大会　西部地区予選

今、「音楽を楽しむ」

精神科デイケア たんぽぽ
企画 看護師 大塚 明
看護師 後藤 修二
認定心理士 細貝 武臣

作詞：たんぽぽご利用者・スタッフ
作曲：認定心理士　井上 麻紀

養和会YouTubeでご視聴できます



たんぽぽの風 ～自分らしく～

一、今日会う人と 楽しく 過ごしたい
自分らしく ありのままで
風に吹かれて はじめの一歩 そこには たんぽぽ
微笑み合って 笑顔の力

二、何ができるのか ふと 思う
だけどその時 心に浮かぶ
あなたの笑顔 明日への一歩 そこには たんぽぽ
助け合って 仲間の力

三、いつかつかみたい 夢がある
自分信じて 仲間とともに
語り合いながら 幸せの一歩 そこには たんぽぽ
支え合って 生きる力
みんなの力
たんぽぽの力

精神科デイケアたんぽぽでは音楽プログラムである「音楽くらぶ」を行っています。

ご利用者が楽器の演奏を通し音楽にふれて楽しむことが目的ですが、他者との共同作業であるため、ご利用者同士が他者に伝わりやすく説明する方法を考える事でコミュニケーション能力や協調性を身につけることもプログラムの目的です。また１つの曲の演奏が成功することで「やり遂げる体験」や「成功体験」が得られ自己肯定感がつき自信に繋がるのも、この「音楽くらぶ」の魅力の一つです。実際にミス無く演奏できた時は全員で拍手をして一体感を味わう場面もありました。

「音楽くらぶ」を行う中でご利用者に歌詞のアイディア、イメージを募集し、試行錯誤しながら職員が中心となってオリジナル曲「たんぽぽの風」を制作しました。毎日、朝・昼・夕に流し、今では口ずさむご利用者も増えてきています。これからも一人一人の「声」を大切にしていき、プログラム内容の充実に取り組んで行きたいと思っています。

初心者の方や音楽に興味がある方、またこれから何かやってみたい方など、見学をしていただき多くの方の参加をお待ちしています。

養和会

養和会理念　養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ　職員の幸せを追求します。

こちらからHPもご覧ください
養和会

医療法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号　TEL 0859-29-5351　FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号　TEL 0859-48-0483　FAX 0859-48-0484

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。